公益財団法人
AFS日本協会
UNESCOオフィシャルパートナー

〒105-0004 東京都港区新橋5-22-10
松岡田村町ビル7F

TEL 0570-040-555（ナビダイヤル）
平日9:00～12:30、13:30～17:00

E-mail info@afs.or.jp

AFS 日本協会 検索

www.afs.or.jp

AFS日本協会事務局からのお知らせは、今後、メールでお送りする予定※です。下記フォームより、登録・更新をお願いいたします。

※お送りする内容は、年1回～数回、年次報告、講演会・進学座談会等のお知らせ、調査・アンケートへのご協力依頼などです。支部が作成する支部報や地域奨学金のご案内などは郵送する場合があります。

http://shortlinks.afs.or.jp/address_change

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

4 質の高い教育をみんなに

16 平和と公正をすべての人に

AFSは「持続可能な開発目標（SDGs）」をサポートします。

AFSは、国連が2030年に向けて採択した「持続可能な開発目標（SDGs）・世界を変えるための17の目標」のうち、目標4と目標16が、世界をよりよい場所にするために役立つ行程であると考えています。

This is AFS Effect 2019 | AFS活動報告書2019

This is AFS Effect 2019

異文化を体験し、
世界とつながる。

AFS活動報告書2019

Intercultural Programs 65th SINCE 1954

異文化学習の場、AFSを支えていただき、ありがとうございます。

AFSは、多様な人種、文化の背景を持つあらゆる世代の人々に対して異文化を理解する知識とスキルを提供することを使命に、活動を続けています。

日本では、初めて海外に派遣生を送り出した1954年から2019年までに、のべ20,000人以上に及ぶ日本全国のボランティアや学校の協力で、派遣・受入あわせて計40,936人の異文化学習を継続してまいりました。

2019年は、453名を37か国に派遣、646名を56か国から受け入れました。ボランティアとして活動に参加してくださった方々は2,100人以上。そして、142の法人・団体および有志のみなさま、1,493名の個人のみなさまに、奨学金や支部活動へのご支援をいただきました。この場を借りて、心より深くお礼申しあげます。

みなさまより頂戴したご支援は、経済的支援を必要とする高校生たちの留学を可能にするための奨学金や、大学生、社会人のボランティア活動の支援、派遣・受入生に対するオリエンテーション等にかかる費用、異文化を学ぶ機会を提供するために活用させていただきます。

今年、AFSの活動は、新型コロナウィルスの影響により、異文化を直接体験する機会を提供することができませんでした。しかし、私たちは、次世代への異文化理解教育の機会をあきらめることは決してありません。むしろ、閉塞感あふれる世の中であるからこそ多様性をみとめることの大切さを、あらためて日本中に広めていきたいと思っています。高校生たちが再び世界に雄飛する日に夢を馳せて、AFSは活動を進め、着実に進化していきたいと思います。

今後とも、みなさまのご賛同とお力添えを賜りますよう、何卒よろしくお願いいたします。

2020年8月
公益財団法人AFS日本協会

新しい「活動報告書」としての「This is AFS Effect」第1号を発行します。

This is AFS Effectは、奨学金を含めAFSにご寄付をくださっているみなさまにお届けする、新しい「活動報告書」です。年1回の発行を予定しています。第2号からはAFS寄付会員のみなさまのみへのお届けとなります。AFS寄付会員については、P.14をご覧ください。

新型コロナウイルスへの対策と、今後の運営に対する緊急募金について

2020年3月14日、AFSは新型コロナウイルス感染症の世界的流行を受けて、生徒の安全を第一に考え、長い活動の歴史の中で初めて、進行中のプログラムを全世界で一斉に中止しました。また、AFS日本協会は、慎重に検討を重ねた結果、6月には2020年（67期）夏組年間派遣プログラムの中止を決定しました。

事業の大きな柱である年間派遣事業の中止によって、AFS体験を志す多くの高校生に機会を提供することが叶いませんでしたが、AFS日本協会は、事業が再開できるまでの間、国内で体験できる異文化教育プログラムを開発する等、いまできることにフォーカスし、AFSミッションを普及することに全力を尽くしてまいります。

これまでにAFSプログラムに関わってくださった方々、活動に共感してくださるみなさまにお願いします。どうか、この学びのプラットフォームが失われることなく異文化理解教育の活動を継続できるよう力をお貸しください。

同封の振込書、もしくはAFSのWEBサイトより、クレジットカードでご寄付いただけます。ご支援を、心からお待ち申しあげています。

One AFS 緊急募金　検索

https://www.afs.or.jp/donate/postcorona/

AFS Effect

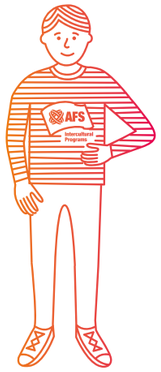
AFS体験は、活きています。

2019年に国際本部がプログラム参加者を対象に実施した初めての大規模調査では、世界80か国から回答が集まり、AFSプログラム参加経験者の多くが、複眼的な視点や問題意識をもち、異なる背景の人と協働する力や新たな環境への適応力、留学時に築いたつながりを活かし、さまざまな業界で活躍していることが分かりました。

試し読み版では表示されません

さまざまな場所で活躍する

AFSers



試し読み版では表示されません

AFSers Action for Covid-19

いま、新型コロナウィルスに対してアクションを起こしているAFSers

世界的な感染拡大により、“新型コロナウイルス”は、今や全世界共通の課題となりました。AFSプログラムの帰国生の中には、「異文化体験」の中で育まれた 問題解決能力やコミュニケーション能力を活かしてそれぞれが今いる場所でできることを、行動に移している人がいます。そんなAFSersの「いま、起こしているアクション」をご紹介します。

#いま、アクションを起こしているAFSers 検索

https://www.afs.or.jp/actionsbyafsers/

AFS Report

奨学金プログラム
参加レポート

試し読み版では表示されません

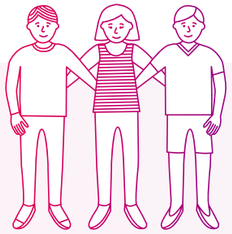
試し読み版では表示されません

本誌に掲載しきれなかった奨学生レポートは、
AFS WEBサイトでご覧いただけます。

AFS 体験談　検索

https://www.afs.or.jp/category/afs-stories/afsstory-yps/

※新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大を受けて、AFSは全世界で進行中だった約7000人のプログラムを中止いたしました。これにより、奨学生を含め、日本から世界36ヵ国・地域に留学していた342人、世界から日本に来日していた37か国255人が緊急で帰国しました。



Notice

みちのく応援奨学金についてのお知らせ

東日本大震災と福島原発事故により大きな被害を受けた地域の中・長期的な復興支援、地域の未来を担う人材育成、被災地の高校生に異文化体験機会の提供を目的とした「みちのく応援奨学金」は、2012年に給付を開始してから2021年で10年を迎えるのを機に、区切りをつけることになりました。今後は、災害復興支援の生徒を応援する奨学金としての再スタートを予定しています。

Donor

ご支援いただいたみなさま

Finance

決算報告

Scholarship

AFSの各種奨学金2019年度実績

試し読み版では表示されません

One AFS

これからも、
世界と共に生きるために。
継続的なご支援をお願いします。

1日33円（月1,000円）からの定額寄付

マンスリー・カード・サポーターになる

One AFS 寄付会員

AFS日本協会の事業は、日本の高校生を海外に派遣する派遣事業と、海外の高校生を日本に受け入れる受入事業の2本柱で成り立っており、プログラム参加費を主な収入元として活動しています。AFSへの寄付は、交流事業に係る研修やボランティアの活動支援になるだけではありません。継続して安定した寄付は、AFSの組織基盤を真に支え、新しい事業を後押しする力になります。ぜひ、マンスリー・カード・サポーターとして支えていただけますよう、お願いいたします。

マンスリー・カード・サポーターにご登録くださった方には

One AFS寄付会員証を発行し、年に1度、報告書「This is AFS Effect」をお届けします。

※This is AFS Effectは、第2号からOne AFS寄付会員の方限定でのお届けとなります。
※AFSの機関紙「AFS NEWS」は、2020年よりデジタル版のみの発行となります。

お申し込みはAFSのWEBサイトから

VISA mastercard 左記のクレジットカードがご利用いただけます

AFS マンスリー・カード・サポーター　検索

https://www.afs.or.jp/donate/monthly/

銀行からの自動引落（口座振替）をご希望の方は、AFS日本協会事務局までご連絡ください。[メール]bokin@afs.or.jp

お好きな額で生徒の留学を支援する

奨学金を指定して寄付する

これからも多様な交流先を確保し、途上国、新興国との交流を拡大していくために、日本に留学してくる高校生のための奨学金となる資金が必要になっています。また、様々な理由で経済的必要度の高い日本から留学する高校生のために、奨学金基金へのご寄付をお願いします。奨学金へのご寄付は随時、任意の額でお受けします。

クレジットカード払いをご利用の方はAFSのWEBサイトから

AFS 寄付　検索

https://www.afs.or.jp/donate/

以下のクレジットカードがご利用いただけます
VISA mastercard

銀行振込の方は以下の口座にお振込みください

ゆうちょ銀行　〇一九支店　当座0610779　AFS寄付金口座
(00170 5-610779)

ご意向や業種などにあわせたご支援

企業・団体として支援したい

AFSは、多くの企業・団体のみなさまより、奨学金設立、一般寄付、マッチングギフトによるご寄付、現物支援、ホストファミリー募集・ボランティア活動へのご協力、インターンの機会の提供など、ざまざまなご支援をいただいています。

※ご寄付をいただくことで、スポンサーとして年次報告に貴社名を記載させていただきます。
※毎年継続的にご支援くださる場合は、派遣生の募集資料にもサポーターとして貴社名を記載させていただきます。

寄付担当までお気軽にご連絡ください

AFS日本協会
E-mail bokin@afs.or.jp

その他のご支援方法

古本募金（チャリボン）

ご家庭や職場で読み終わった書籍やDVDをAFSの活動資金にできます。大学にお勤めの方や監査法人など日常的に大量の書籍を扱われる方から、日常生活の“断捨離”で読まなくなった本をAFSに、とお寄せくださる方まで、多くの方にお選びいただきました。昨年は、のべ111名の方からお寄せいただいた書籍・DVD、2,982点が買取対象となり、273,425円のご寄付につながりました。ご協力くださったみなさま、ありがとうございました。古本による募金活動は通年お申し込みを受け付けています。

お申し込みはWEBサイトから

AFS チャリボン　検索

https://www.charibon.jp/partner/AFS/
運営：株式会社バリューブックス

寄附金控除　AFSへの寄付は寄附金控除の対象です。

Voice from One AFS

わたしがAFSを支援する理由

AFSは人生の新しい扉を開いてくれました。私は欧米と日本を繋ぐ商社という仕事をしていますが、すべてのきっかけはこのAFS留学です。多くの生徒さんにAFS体験をしてほしと思い、奨学金の支援を続けています。

—32期 派遣生

AFSのことは知り合いの高校の先生から伺いました。生徒さんが奨学金を得て留学されたそうです。同様に一人でも多くの高校生が海外に出ることを願っています。

—2019年度 一般寄付者

子どもが大変お世話になりました。わずかながら恩返しができればと年会費の寄付を続けています。

—派遣生保護者